



年頭のご挨拶



日本通運健康保険組合
理事長 横尾 行雄

新年明けましておめでとうございます。

被保険者並びに、ご家族の皆さまにおかれましては、
健やかに新しい年をお迎えになられたこととお慶び申し上げ
ます。

また平素から、当健康保険組合の事業運営に対しまし
て、多大なるご理解とご協力を賜り、心から御礼を申し上
げます。

2020年の新春を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し
上げます。

昨年を振り返りますと、忘れてはならないのが、一昨年
に続き甚大な被害をもたらしました数々の災害であります。

8月に九州北部で発生した集中豪雨、また9月に千葉
県を直撃した台風15号、さらには10月に東日本の広範
囲を襲った台風19号等大きな災害が起きました。

未だ不自由な生活を余儀なくされている方々には、心か
らお見舞いを申し上げますとともに、一刻も早い復興をお
祈り申し上げます。

さて、昨年10月には消費税率が引き上げられ、日常
生活への影響を少なからず感じていらっしゃると思いま
すが、この引き上げにより、社会保障制度が現役世代はも
ちろん、未来を担う将来世代をも支えるための全世代型
社会保障へ転換していくことを期待しているところであり
ます。

団塊の世代が75歳に到達し始める2022年からは、
高齢者医療のための納付金が急増し、医療保険全体の
財政悪化が急速に進む最大の危機の到来が確実視され
ています。

わずか2年後、我々健康保険組合は、今まで以上の困
難を強いられることが予想されます。

政府は本年6月を目途に、医療保険制度などの給付と
負担の見直しを含む改革に向けた重点政策を、「骨太方
針2020」として取りまとめる方針です。

健康保険組合としましては、一刻も早い高齢者医療費
の負担構造改革を求めるところであります。

一方、このような厳しい状況下ではありますが、特定
健診・保健指導はもちろんのこと、健康づくりをサポート
する有益な保健事業を展開し、皆さまの健康寿命を延伸
することが、健康保険組合の重要な使命と認識しており
ます。

私たち日本通運健康保険組合は、これまでも被保険
者、被扶養者の皆さまの健康増進を目的として、各種疾
病予防対策や重症化対策等に資する保健事業に取り組
んでまいりました。

特に被保険者の皆さま向けに開設しました「みんなの
健康ナビ」は、日々の健康管理のお手伝いや、過去の
健診結果、医療費・お薬実績等の役立つ健康情報をご
提供し、またウォークラリー等の楽しいイベントもご案内
しております。

このシステムは、今後さらにコンテンツを充実させ、使っ
てトクするうれしい内容に進化させてまいりますので、よ
り多くの方々にご利用いただきますようお願いいたします。

また、気になる症状・病気、育児や介護の不安、ここ
ろの不調など何でも、24時間・365日、無料でご相談い
ただける「ホームドクター24」も大変ご好評をいただいて
おります。ぜひお気軽にご利用ください。

当健康保険組合は、今後も適正・迅速な業務運営は
もとより、事業主とのコラボヘルスを推進し、データ分析
に基づいた効果的かつ効率的な保健事業を実施して、被
保険者、被扶養者の皆さまのお役に立てるよう、職員一
同、一生懸命努めてまいりますので、何卒よろしくお願
い申し上げます。

本年は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技
大会が行われる、全国民にとって記念すべき年です。

世界に名だたるアスリートたちが、人々を感動させるパ
フォーマンスを発揮できるのも、心身の健康があつてこそ
です。

皆さまにおかれましても、それぞれの舞台で実力を発
揮できるよう、日々の生活に運動習慣を取り入れるととも
に、食生活にも気を配って健康の保持増進に努めていた
だきますようお願い申し上げます。

皆さまが今年一年、健康で幸せに
過ごされますことを心から
お祈りし、新年のご挨拶
とさせていただきます。

2020年1月1日